

## 農山村漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル 独自資金『農業支援資金』

J A 名 東京むさし（東京都）

<b>1 動機 (経緯)</b>	正組合員の生業である農業を営むために必要な資金を、簡便な方法で円滑に融資し、側面から農業支援を図ることを目的としています。 当商品は J A プロパー貸付枠と東京都農業信用基金協会保証付保の別枠化を行い、組合員利用者の利便性向上を図っています。
<b>2 概要</b>	貸出対象者 正組合員およびその農業後継者 貸出限度額 下記①②の合計 3,000 万円まで。但し、他無担保貸出融資とは別枠としています ① JA プロパーの場合・・・1,500 万円以内でかつ所要資金以内 ② 基金協会保証等付保の場合・・・1,500 万円以内でかつ所要資金以内 貸出期間 10 年以内 但し、農業用建築物構築物造成資金については、据置期限を 1 年以内とし、据置期限を含め最大 11 年以内 他金融機関からの借換資金の場合は、当初借入期間の残存期間以内 資金使途 農業経営に必要な資金で次に掲げるもの ① 農業用機械器具所得資金 ② 農業用建築物構築物造成資金 ③ 他金融機関の農業施設資金借換資金 貸出利率 基準金利（住宅ローンプライムレート）-1.5%以内で軽減 保証人 連帯保証人 1 名以上、基金協会保証付保枠については原則不要 担保 不要
<b>3 成果 (効果)</b>	ホームページへの掲載やチラシ作成を行い、指導経済課担当者・得意先担当者の訪問・推進活動により、平成 26 年度は 8 件 16,100 千円の貸出実績がありました。
<b>4 今後の 予定（課題）</b>	現在、異常気象による大雪・大雨等による自然災害の発生が報じられています。農業経営に被害を受けた組合員利用者への個別訪問を行い自然災害での被害に対応する農業支援資金（雪害・降ひょう特例）の新規取扱いを平成 25 年度より開始し、平成 26 年度は 1 件 3,800 千円の貸出実績がありました。 また、組合員利用者の更なる利便性向上のため、平成 27 年度より貸出利率の見直し【(住宅ローンプライムレート) -1.9%以内で軽減】を実施しました。